

令和3年度学校運営方針

岐阜北高等学校（全日制）

1 学校教育の目標

- (1) 知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する。
- (2) 確かな学力を身に付けさせ、創造的思考力と主体的実行力とを併せ持つ生徒を育成する。
- (3) 品性がありグローバルな視野と地域社会に貢献できるたくましい実践力とを兼ね備えた人間性豊かな生徒を育成する。
- (4) 倫理観や規範意識に基づく社会性を育むとともに、他者を思いやる心に富む生徒を育成する。
- (5) 健康維持や体力づくりを推進し、自他の生命を尊重できる生徒を育成する。

2 学校経営の重点

- (1) 生徒一人一人を大切にし、進路志望の実現や部活動等における自己実現等を支援する。
- (2) 保護者・学校評議員・地域社会の意見や評価に即した学校運営を心がけ、積極的な情報発信により開かれた学校づくりに努める。
- (3) スクールポリシー「荒野をひらく探究人」を目指し、県指定の地域共創フラッグシップハイスクール事業及び進学指導重点校事業を積極的に推進する。
- (4) 授業研究や校内研修を組織的・計画的に実施し、探究的な学びの視点から授業改善に努める。
- (5) 「教職員の働き方改革プラン」を踏まえ教職員自身が心身共に健康で、やりがいをもって教育活動に取り組めるように努める。
- (6) あらゆる教育活動において、道徳教育及び命を大切にする教育を積極的に推進する。
- (7) グローバルな視野を持たせるため、オーストラリアのマンスフィールド高校との国際交流を積極的に推進する。
- (8) 高大連携の推進や地域社会への貢献を積極的に推進する。

3 教科指導の重点

- (1) 生徒が、主体的・対話的で探究的な学びが実現できるよう、次の点に留意した指導を行う。
 - ・各教科・科目指導における指導目標と評価基準を明確にし、年度当初の初期指導等を通して基本的学習態度を確立させる。
 - ・生徒が主体的に参加する授業を実現するとともに、生徒の思考力・判断力・表現力を育て、学力向上を推進する。
 - ・環境・防災・生物多様性・国際理解・エネルギー等、持続可能な発展のための教育の充実に努める。
 - ・個に応じた指導に努めるとともに、幅広い話題や先端的な課題研究等に触れることにより、生徒がより高く幅広い教養を身に付けることができるように努める。
- (2) 研究授業・公開授業等を計画的に実施するとともに、教科・科目間連携を推進しコラボレーション授業に積極的に取り組む。また、学校関係者評価並びに教師間の相互評価を実施し、その結果を授業の構築・工夫・改善に活用する。

4 生徒指導の重点

- (1) 様々な教育活動を通して愛校心を養い、高い志のもと自らを律する態度を育成する。
- (2) 保護者や関係諸機関との連携を図り、生命を尊重する心を育むとともに、防災および交通安全教育を推進する。
- (3) 情報社会への理解を深め、SNS上での個人情報の扱いなど自他の安全に配慮し、情報を正しく運用する能力を育成する。
- (4) 一人一人が尊重される社会の担い手として必要な人権尊重の意識を醸成するとともに、いじめ防止に努める。
- (5) 対話を通して信頼関係を構築する教育相談に努め、一人一人の自己有用感を高める。

5 進路指導の重点

- (1) 生徒一人一人の能力・適性を十分把握し、全学年を通して、HR活動や総合的な探究の時間、課題研究などを「ポートフォリオ」に記録し、計画的なキャリア教育を進める。
- (2) 自己の能力・適性を正しく理解することにより、生徒が自己の在り方生き方を主体的に決めることができる能力を育てる。
- (3) 生徒及び保護者の進路検討の機会を潤沢にするため、講演会、出張講座、体験学習などの多彩な行事を積極的に実施する。
- (4) 国の高大接続システム改革の動きを把握し、生徒の進路実現に向けた対応を検討する。

6 特別活動の重点

- (1) 生徒会、委員会、HR等における自発的かつ自治的な活動を通して、支え合い伸ばし合う関係性を形成するとともに、相互理解と協調により物事を遂行していく姿勢を育成する。
- (2) 部活動への参加を促進し、一人一人の能力や達成感およびチームワークを大切にした指導によって、自己の可能性に積極的に挑戦する姿勢や自主性・社会性を育成する。

7 全教育を通して、特に配慮すること

- (1) 社会の形成者として必要な政治や選挙への関心を高め、政治的教養を豊かにするための教育の充実に努める。